

ポスター代水増し請求

山県市議ら12人書類送検

県警 公費詐欺の疑い

山県市議選で市議らが署は十二日、同容疑で現「選挙公営」で公費負担職の市議ら七人と選対関係されるポスター代を水増し請求した詐欺容疑事件人を岐阜地検に書類送検で、県警捜査二課と山県した。

送検された議員は、今年四月の統一選で県議選に出馬した元市議の横山瀬隆彦(五五)、吉田茂広(五五)と、市議会議員の村橋安治(五五)、宮を認めている。

調べでは、市議ら七人はそれぞれ印刷業者と共謀し、二〇〇四(平成十六)年四月の市議選で、選挙公営で認められていない名刺やはがきの製作費をポスター代と偽って市に水増し請求し、市から数万から十数万円をだまし取った疑い。

うち二人の市議は、名刺やはがきの製作費のほかに、十数万前後を上乗せして請求し、業者から還流させていた。同市のポスター代の限度額は約三十七万円で、七人のうち五人が上限に近い金額を請求していた。

これまでに横山県議と市議五人が記者会見し、水増しの事実を認めて謝罪。最後まで発言を控えてきた村橋議長も書類送検された十二日、市役所で会見し、水増し行為を認めた。

同市議選には二十七人が立候補し、うち二十五人が選挙公営に基づき、ポスター代を市に請求。県警は水増しの疑いがあるとして先月から、市議らの事情聴取を進めていた。

山県市ポスター費

県議と6市議書類送検

詐欺容疑で 岐阜県警 水増し最高28万円

二〇〇四年の岐阜県山県市議選の選挙ポスター製作費水増し請求事件で、県警捜査二課と山県署は十二日、いずれも詐欺の疑いで、元市議の横山瀬隆彦(五五)、宮田武彦(五五)、吉田茂広(五五)と市議六人、後援会の会計責任者一人、ポスター製作を請け負った印刷業者五人の計十三人を書類送検し

書類送検された市議は、村橋安治市議長(五五)と渡辺政勝市議(五五)、武藤孝成市議(五五)、村瀬隆彦市議(五五)、宮田武彦市議(五五)、吉田茂広市議(五五)と、市議会議員の横山瀬隆彦(五五)と、市議会議員の村橋安治(五五)、宮田武彦(五五)を認めている。

調べでは、横山県議らはそれぞれ業者らと共謀し、山県市議選の際、実際にポスター製作にかかった費用よりも多く市に請求し、公費をだまし取った疑い。最も水増し額が多かったのが横山県議員の上限は候補者一人あとの内容という。

調べでは、市議らは同市議選で印刷業者らと共謀し、選挙公営制度では公費負担が認められない選挙用はがき製作費などをポスター製作費に上乗せした虚偽の請求書を、市に提出。市からそれぞれ数万〜十数万円をだまし取った疑い。印刷業者に対し、約10万円上乗せした金額で市に請求するよう指示し、業者から金の一部を受け取った議員もいるという。

【鈴木敬子、稲垣栄史】

二〇〇四年の岐阜県山県市議選の選挙ポスター製作費水増し請求事件で、県警捜査二課と山県署は十二日、いずれも詐欺の疑いで、元市議の横山瀬隆彦(五五)、宮田武彦(五五)、吉田茂広(五五)と市議六人、後援会の会計責任者一人、ポスター製作を請け負った印刷業者五人の計十三人を書類送検し今年四月の統一地方選で

調べでは、横山県議らはそれぞれ業者らと共謀し、山県市議選の際、実際にポスター製作にかかった費用よりも多く市に請求し、公費をだまし取った疑い。最も水増し額が多かったのが横山県議員の上限は候補者一人あとの内容という。

調べでは、市議らは同市議選で印刷業者らと共謀し、選挙公営制度では公費負担が認められない選挙用はがき製作費などをポスター製作費に上乗せした虚偽の請求書を、市に提出。市からそれぞれ数万〜十数万円をだまし取った疑い。印刷業者に対し、約10万円上乗せした金額で市に請求するよう指示し、業者から金の一部を受け取った議員もいるという。

【鈴木敬子、稲垣栄史】

山県市議ら書類送検

ポスター代水増し 14人、詐欺容疑

岐阜県山県市議選のポスター代水増し請求問題で、岐阜県警は12日、市議から転身した県議1人、現職市議7人と、ポスター製作を請け負った業者ら計14人を詐欺容疑で書類送検した。同県警によると、選挙公営制度による公費負担をめぐる立件は全国初。

書類送検されたのは、元市議で今年4月の県議選で初当選した横山善道(53)と当選後に自民入りし、村橋安治市議会議長(58)ら現職市議7人、市議の後援会関係者1人、印刷業者5人。市議と業者各1人について「立件を見送る」とする意見を付けた。

山県市議7人書類送検

元市議のポスター製作費詐欺容疑

2004年4月の岐阜県山県市議選で、当選した市議らがポスター製作費を水増し請求していたとして、書類送検されたのは、元市議の横山善道(53)と、議長(58)の辞職願を提出している村橋安治(58)ら7人、印刷会社側の社長ら5人。調べによると、9人は実際にポスター製作費より多い金額を請求し、数万円か

2007.7.13 朝日

市民厳しく批判

ポスター費取 市議長も認め謝罪

選挙ポスター製作費の水増し請求疑惑で、現職市議ら7人が詐欺容疑を問われて書類送検された山県市議会。大量の送検に市幹部は困惑の表情を隠さず、市民は議員の座に居座る7人に厳しい批判の声を上げた。

平野元(はじめ)市長は「送検の事実はまだ確認しておらず、現時点ではコメントできない」と戸惑いながら話した。市幹部は「本当かと驚き、確認に追われた。市議会で選挙公営問題を追及してきた寺町知正市議は、やっぱりか」という思い。市民の政治不信が高まる



支給させた二十万七千六百七十五円のうち、半額以上が、制度では認められない、はがき代だったという。

印刷業者が請求額にはがき代も含めてきたためだとも釈明。その後には「訂正しよう」と考えなかったと述べた。その上で「公金への認識が甘かったと言われれば、そう言われても仕方がない」とし「すべて私の責任だ」と謝罪した。

議員辞職については現段階では否定し、「市民感情、市の特別調査委、司法の判断などを総合的に判断し、辞職も含めて真剣に考える」と述べた。既に副議長に提出してある議長辞職願は、十九日午前十時から開く市議会臨時会で審議される。

(横山大輔)

2007.7.13 読売

2007.7.13 中日

同市高官の無職男性(68)は「血税をだまし取るのは当然、犯罪だ。自分たちでも認めているのに議員辞職しないのはおかしいと思う。政治家にはカネの問題が多くて本当に信用ならないと憤った。

一方、この日、詐欺容疑の市議の中で最後に謝罪会見した村橋安治議長(58)は謝罪が遅れたことについて「六月の議会中では混乱も考え、議長の仕事第一にしていた。それは理解していただけたと思う」と述べた。村橋氏によると、市にポスター製作費としてある議長辞職願は、十九日午前十時から開く市議会臨時会で審議される。

(横山大輔)

2007.7.12 岐阜・夕刊

ポスター費水増しか

市民団体、住民監査請求へ

今年四月に行われた統一地方選の福井県議選について候補者らが公費負担のポスター製作費を水増し請求した疑いがあるとして、市民団体「市民オンブズマン福井」が近く住民監査請求を行うことが十一日、分かった。

地元印刷業者の中には「水増し分を候補者にキックバックした」などの証言もあり、県議らの対応が注目される。

情報公開請求で県が開示した資料によると、県議選に出馬した五十五人のうち半数近くの二十六人が条例で定められた上限いっぱい請求。県選管に候補者が報告したポスターの単価は約三百円から約三千円と最大で十倍もの開きがあり、「ばらつきがあり過ぎる」と不自然さを指摘する市民もいる。

山県市では、二〇〇四年四月の市議選でポスター製作費を水増し請求したとして、岐阜県警が今年六月、詐欺の疑いで市議ら七人を書類送検した。

山県市議長も謝罪

ホスター代 水増し最後に認める

山県市議選のホスター代水増し疑惑で、14人が県警に書類送検された12日、村橋安治市議会議長(58)が市役所で記者会見し謝罪した。村橋議長は、書類送検された議員のうち「立件を見送る」とされた1人を除く7人中、最後に水増しを認め、「選挙公営制度への理解が甘かった」とい

い、捜査の中で初めて違法性を認識したと強調した。村橋議長は04年の市議選で、ホスター代の公費負担限度額の80%にあたる29万7675円を請求し、その中に、本来は請求できないがき印刷代も合わせて請求したと説明。自らの疑惑について言及を避けてきたことについて、「自分を無にしても、議長としての立場から(6月29日)の定例会閉会までの職務を全うしなければならぬ」と判断したと述べた。



水増しを認め会見する村橋安治議長(山県市役所)

2007.7.13 朝日

2007.7.13 岐阜

市議会議長、水増し認める

山県市議選のホスター代の事実を認めて謝罪し「考えたい」とし、明言を代水増し請求の詐欺容疑。村橋議長は10日に議事場で、村橋安治市議会議長の辞職願を出している

議長(58)が12日、同市が、市議の進退について役所で記者会見し、水増しは「総合的に推移を見ておわびを申し上げます」

明。自らの疑惑について言及を避けてきたことについて、「自分を無にしても、議長としての立場から(6月29日)の定例会閉会までの職務を全うしなければならぬ」と判断したと述べた。

議員辞職するかどうかは、司法の判断や、市が設置した調査委員会の結果を待って判断するとい

謝罪5市議 会派離脱届

ホスター代の水増し請求を認めて謝罪した山県市議5人が相次いで、所属会派の離脱届を出していたことが12日、わかった。市議会関係者によると、「市政クラブ」の村橋盛彦、武藤孝成、渡辺政勝、村橋安治の4市議と「山県クラブ」の吉田茂広市議が各会派に届け出たという。

と謝罪。水増しを認めたほかの市議よりも発表が遅れたことについて「六月定例会では重要な案件があった」などとし、議長として議会運営を優先させた考えを語った。水増しの内容については、ほかの市議の印刷代が含まれた代金約二十九万七千円を業者とのホスター代契約書として作成。選挙後に収支報告書の誤りに気付いたが修正しなかったという。

「水増し半額以上」

山県市7人目 議長が謝罪会見

12版

(平成19年) 7月13日 (金曜日)

会を開き、辞職に同意する見通し。【宮田正和】

岐阜県山県市議選の選挙ホスター製作費水増し請求問題で、同市議会議長辞職願を10日に提出した村橋安治議長(58)が12日、記者会見し、水増しの事実を認めた上で「市民に深くおわびする」と謝罪した。村橋議長はホスター代として29万7675円を受け取ったが、半分以上が水増しだったという。水増しを認めて謝罪したのは、今年の県議選で当選した元市議の県議1人、市議6人の計7人となった。

2007.7.13 毎日

2007.7.13 読売

半額が水増し請求

議長辞職願の市議辞職にも含み
村橋 氏

山県市議選のホスター製作費水増し請求問題で、市議会長の辞職願を出した村橋安治市議(58)が12日、記者会見を開き、公費負担として市選管に請求したホスター製作費29万7675円の半額が水増し請求だったと明らかにした。市が設けていないがきの印刷代(2000枚分)を含んで、岐阜地検が下す司法判断次第で、市議の辞職も含め市選管に調査や県警の捜査を理由に示さなかったが、ホスター製作費45%、ほかき印刷代55%の割合になると説明している。

また、公費請求は本来、印刷会社から直接、市選管に求めることになっているが、自紙の契約書に村橋氏が印刷会社から金額を聞いて書き込んだ。「5月に市議選の収支報告書を市選管に提出したとき、過ちに気づいたがそのままにしてしまった」と述べ、「申し訳ないことをした。責任をとって議長を辞任することに」と謝罪した。